

2016年4月25日

各位

幹事 杉山 昇  
NPO としまち研

**第249回一木会【2016年5月12日(第二木曜日)】のご案内**

テーマ: 「プラスチックの海とその対策、私たちにできることは？」

ゲスト: 高田 秀重 氏(東京農工大学農学部環境資源科学科 教授)

主な内容:

私たちが普段何気なく使っているプラスチック製品(レジ袋、ペットボトル、コンビニのお弁当箱など)は、使ったあとできちんと処理されず、路上や地面に落ちてしまうと、雨で流され、最後は海を汚染してしまいます。海では紫外線によってボロボロになっていき、微細なプラスチックごみ(マイクロプラスチック)となります。

マイクロプラスチックは魚や貝などが餌と区別せずに食べてしまいます。実際に東京湾の魚の消化管からプラスチック片が見つかっています。海を漂うプラスチックごみは単なるプラゴミではなく、有害な化学物質の運び屋にもなっています。

これらの汚染の実態、国際的な取り組み、私たちができる対策などについて、一緒に考えてみたいと思います。

プロフィール:

1986年東京都立大学理学研究科博士課程中退。86年東京農工大学農学部 環境保護学科助手。97年同助教授。07年より現職。この間、90年米ウッズホール海洋研究所客員研究員。

主な著作に『環境汚染化学』(丸善出版)『環境ホルモンの最新動向』(ブックレビュー社)『東京湾—100年の環境変遷』(恒星社厚生閣)などがある。

海洋学会岡田賞、水環境学会論文賞、環境化学会学術賞、海洋立国推進功労者表彰(内閣総理大臣賞)など受賞。

前回は、4月14日(木)に活断層や地殻変動の専門家・市川清士氏に「地震・活断層と人間生活」というテーマでお話をさせていただき、地震のメカニズムから我々はどこに住めばよいかまで、災害列島・日本について勉強をしました。質疑や1分間スピーチを含む懇親会が行われ、片付けが終わったところに午後9時26分、熊本地震の前震がきたわけです。この機会に熊本への支援とともに足元での防災についてもしっかり考えようではありませんか。

さて、今回は、東京農工大学の高田先生に、日常使っているプラスチック製品からの海洋汚染の実態と私たちにできる対策などについてお話を伺います。

下記により実施しますので、ご家族お知り合いお誘い合わせのうえ、お出かけください。

記

- 日 時 平成28年5月12日(第二木曜日)午後6時30分～  
※一木会は、原則として、第一木曜日ですが、今回も第二木曜日に行います。
- 場 所 千代田区神田東松下町33 COMS HOUSE2階会議室  
お問い合わせ・連絡は、電話5207-6277
- 参加費 1,000円

以上